



2月中旬、日本列島の太平洋側は数十年ぶりという大雪に、それも2週続けて襲われた。雪国の方には「これしきの雪で」と笑われそうだが、首都圏は大混乱。山梨県を中心に孤立集落も続出して、災害対策本部を設置する県も出る事態となった。

今回は、この大雪について考えてみたい。

温が低かったため、雪はさらさらで軽かった。我が家の周りも見どころのない30センチあまりの大雪で雪かきに苦労したが、今から思えば次の大雪に比べればましだった。

二度目の大雪はそれから5日後、14日から16日にかけてだった。シベリア高気圧の張り出しが少し北上がっており、雪を降らせた低気圧が5日前より陸地側を通ったため、南風が流れ込んで雪は湿った重い雪となり、各地に大きな被害をもたらした。消防庁の発表(2月末)では、死者26人、重軽傷者1048人、家の全半壊61棟、一部損壊550棟という本土直撃の被害となった。

撃台風並の被害となつてい。三重・静岡・長野・山梨・群馬の5県では災害対策本部が設置され、各地の消防・防災ヘリコプターが県境を越えて救済にあたっている。このときにば雨になるが、寒波に覆われていると雪になる。海面温度が高いとその低気圧が発達し、時に台風並みになる。このときに「積雪による直接被害」

ではそうなっていないため、想定外の積雪荷重がかかる。屋根がつぶれたりする。二度目の大雪は湿った重い雪だったため、古い建物、アーケード、車庫、ビニールハウスなどがかなり被害をうけた。ビニールハウスの被害は、その後も野菜の値段に跳ね返り、生活への影響がいまだに残っている。

「積雪による直接被害」

「地球温暖化」 今回の大雪の遠因は、地球温暖化の影響で北極の気温が上がり、その影響で偏西風が蛇行して、今年は日本や北米、ヨーロッパが軒並み寒波に覆われているのだそうだ。寒さの原因は地球温暖化、というのは感覚的に納得しづらいが、異常気象の現れ方の一つ、と理解すれば良いのだろう。今回の大雪程度の雪が降っても、豪雪地帯では支障なく暮らしている。ハード・ソフト両面の雪害対策がしっかりと行われているためだ。

改めて身にしみた「大雪も災害だ」

助や救急搬送に応援活動をする事態となった。

先日の大雪の際は、日本列島がスッポリと強烈な寒気に覆われており、一方で海面温度が高く南からの暖気との温度差が大きかったため低気圧が北上中に急激に発達。折しも行く手に高気圧が長く滞留して進路をブロックしたため低気圧の速度

大雪の被害は、大きく分けると①積雪による直接被害、②交通・エネルギー・情報などネットワークの寸断による間接被害に大別される。

直接被害の典型は、雪の重みによる家屋などの倒壊だ。雪国では建築基準法上耐力が割増しになっているが、太平洋側

雪による死者26人のうち、車庫倒壊による死者が4人、建物の一部倒壊2人、ビニールハウスの潰れ1人、計7人が建物裏に発生した。地震と違って何日も前から予報されていたので外出を控える。ほかに、落雪の下敷き5人、除雪中の事故3人などがある。また、車が雪で立ち往生して車内足止めされて苦労されて

「ネットワークの寸断による被害」

大雪の当日、交通網が途絶して帰宅困難者が大量に発生した。地震と違って何日も前から予報されていたので外出を控える。ほかに、落雪の下敷き5人、除雪中の事故3人などがある。また、車が雪で立ち往生して車内足止めされて苦労されて

小淵沢間で14日夜から電車9本が止まったままになり、乗客計約900人が取り残された。雪の重みで架線が切れたりポイントが動かなくなったりして進めなくなりましたが、道路も雪で埋まり代替輸送もできない状況だったという。

(以上毎日新聞電子版)

電力関係では着雪して重みで切れた架線が続出。17日午前0時時点で、山梨の4県で計約8100軒が停電したままだった。交通のアクセスが難しく、復旧に時間がかかったということだ。

(朝日新聞電子版)

停電のため、全国18の島南岸の海面温度の上昇は、来年度以降も頻発する可能性がある。今年の大雪が今後も常態化するなら、太平洋側も日本海側にならった大雪対策を講じていく必要があるのかも知れない。

【二度目の大雪】

最初の大雪は2月8日から9日にかけて降り、東京都心部でも45年ぶりという27センチの積雪となった。ただ、この日は日本列島が今冬トップクラスの寒波に覆われていて気

【なぜ大雪が】

太平洋岸に大雪が降つた原因は、お決まりの「南岸低気圧」だ。例年春先

雪による死者26人のうち、車庫倒壊による死者が4人、建物の一部倒壊2人、ビニールハウスの潰れ1人、計7人が建物裏に発生した。地震と違って何日も前から予報されていたので外出を控える。ほかに、落雪の下敷き5人、除雪中の事故3人などがある。また、車が雪で立ち往生して車内足止めされて苦労されて

小淵沢間で14日夜から電車9本が止まったままになり、乗客計約900人が取り残された。雪の重みで架線が切れたりポイントが動かなくなったりして進めなくなりましたが、道路も雪で埋まり代替輸送もできない状況だったという。

(以上毎日新聞電子版)

電力関係では着雪して重みで切れた架線が続出。17日午前0時時点で、山梨の4県で計約8100軒が停電したままだった。交通のアクセスが難しく、復旧に時間がかかったということだ。

(朝日新聞電子版)

停電のため、全国18の島南岸の海面温度の上昇は、来年度以降も頻発する可能性がある。今年の大雪が今後も常態化するなら、太平洋側も日本海側にならった大雪対策を講じていく必要があるのかも知れない。

小淵沢間で14日夜から電車9本が止まったままになり、乗客計約900人が取り残された。雪の重みで架線が切れたりポイントが動かなくなったりして進めなくなりましたが、道路も雪で埋まり代替輸送もできない状況だったという。

(以上毎日新聞電子版)

電力関係では着雪して重みで切れた架線が続出。17日午前0時時点で、山梨の4県で計約8100軒が停電したままだった。交通のアクセスが難しく、復旧に時間がかかったということだ。

(朝日新聞電子版)

停電のため、全国18の島南岸の海面温度の上昇は、来年度以降も頻発する可能性がある。今年の大雪が今後も常態化するなら、太平洋側も日本海側にならった大雪対策を講じていく必要があるのかも知れない。

【二度目の大雪】

最初の大雪は2月8日から9日にかけて降り、東京都心部でも45年ぶりという27センチの積雪となった。ただ、この日は日本列島が今冬トップクラスの寒波に覆われていて気

【なぜ大雪が】

太平洋岸に大雪が降つた原因は、お決まりの「南岸低気圧」だ。例年春先

雪による死者26人のうち、車庫倒壊による死者が4人、建物の一部倒壊2人、ビニールハウスの潰れ1人、計7人が建物裏に発生した。地震と違って何日も前から予報されていたので外出を控える。ほかに、落雪の下敷き5人、除雪中の事故3人などがある。また、車が雪で立ち往生して車内足止めされて苦労されて

小淵沢間で14日夜から電車9本が止まったままになり、乗客計約900人が取り残された。雪の重みで架線が切れたりポイントが動かなくなったりして進めなくなりましたが、道路も雪で埋まり代替輸送もできない状況だったという。

(以上毎日新聞電子版)

電力関係では着雪して重みで切れた架線が続出。17日午前0時時点で、山梨の4県で計約8100軒が停電したままだった。交通のアクセスが難しく、復旧に時間がかかったということだ。

(朝日新聞電子版)

停電のため、全国18の島南岸の海面温度の上昇は、来年度以降も頻発する可能性がある。今年の大雪が今後も常態化するなら、太平洋側も日本海側にならった大雪対策を講じていく必要があるのかも知れない。

小淵沢間で14日夜から電車9本が止まったままになり、乗客計約900人が取り残された。雪の重みで架線が切れたりポイントが動かなくなったりして進めなくなりましたが、道路も雪で埋まり代替輸送もできない状況だったという。

(以上毎日新聞電子版)

電力関係では着雪して重みで切れた架線が続出。17日午前0時時点で、山梨の4県で計約8100軒が停電したままだった。交通のアクセスが難しく、復旧に時間がかかったということだ。

(朝日新聞電子版)

停電のため、全国18の島南岸の海面温度の上昇は、来年度以降も頻発する可能性がある。今年の大雪が今後も常態化するなら、太平洋側も日本海側にならった大雪対策を講じていく必要があるのかも知れない。